

クローズアップ
CLOSE UP



進化する花火鮮やかに

8月12日に前橋花火大会を開催しました。大渡橋の南北全長800mにわたる超ワイドスターメインや七色に変化する虹色花火、前橋華龍太鼓の生演奏に合わせたプログラムなどを実施。趣向を凝らした華やかな演出に観客からは拍手と歓声が沸き起こりました。

大胡の暴れ獅子厄払う

7月29日・30日、4年ぶりに大胡祇園まつりを開催。上州大胡風神太鼓保存会の演奏や暴れ獅子の練り歩きでにぎわいました。獅子の赤い塗料を塗ることで風邪をひかないなどの言い伝えがあることから、担ぎ手や子どもたちの顔は赤く塗られていました。



空襲の歴史舞台で体現

8月5日・6日、昌賢学園まえばしホールで、前橋空襲を描いた市民ミュージカル「灰になった街」を上演しました。本市ならではのエピソードに会場は時折笑いに包まれながらも、空襲のシーンでは戦争の悲惨さを体現する市民ら出演者の熱演に、多くの観客が涙しました。

いきいき
まえばし人
市国際交流員
ライアン・リーさん・23歳
住吉町一丁目



前橋のことをもっと知っていききたい

8月から新たに本市の国際交流員に就任したアメリカ出身のライアンさん。ハワイ大で日本語を専攻し、日本での留学経験もある。

「初めて日本語を学んだのは中3の授業。大学で本格的に学び始め、留学中にはさまざまな日本の文化に触れ、さらに興味を持ちました」

最も興味を持ったのは日本の美意識。中でも生け花に興味を持ったという。

「まさか私が生け花に興味を持つとは自分でも思っていませんでした。ハワイでもオンラインで学んだことがあります。実際に体験してみると講師の生け花に対する情熱が伝わってきて、気付くと夢中になっていま

した」

興味を持つと、行動に移すというライアンさん。留学中は岐阜県にスキーへ行ったり、別府市で大好きな温泉に入ったり、さまざまな場所へ行き楽しんでという。本市の国際交流員に決まった際には、ハワイにいながら前橋花火大会の有料観覧席を予約し、実際に観覧したそう。

「初めての仕事で不安もありますが、日本語能力の向上を目指すしながら、前橋市の歴史や文化などの知識を増やしていきたいです。また、故郷のハワイが大災害に見舞われ心配ですが、今後ハワイを皆さんに紹介する機会が持てたらうれしいです」
前向きに語るライアンさんの新天地での生活は始まった。



【Vol.3】チッタスローサNDER
固 観光政策課
☎ 027-257-0675

スローシティの取り組みなどを紹介するこのコーナー。今回は「チッタスローサNDER」について紹介します。

「チッタスローサNDER」は、スローシティ国際連盟が設定したスローシティを国際的に広める日。9月の最終日曜日（今年24日）がチッタスローサNDERにあたり、前後1週間の9月17日（日）から10月1日（日）までは、各スローシティ加盟都市でスローシティの理念に沿ったさまざまなイベントや取り組みが開催されます。

本市では、チッタスローサNDERに合わせて、3つの取り組みを実施します。

一つ目は、スローシティを知ってもらうため、インスタグラムとX（旧ツイッター）で#（ハッシュタグ）キャンペーンを実施します。詳しくは観光政策課イ

ンスタグラムか本市シティプロフィールをご覧ください。二つ目は、JR前橋駅前やき並木通りにスローシティフラッグを掲出します。JR前橋駅前を歩く際は、見上げてオレンジ色のカタツムリを探してみてください。三つ目は、日本トーターグリーンロード前橋と臨江閣のオレンジライロトアップです。スローシティロゴマークと同じオレンジ色にライロトアップします。

この3つの取り組みは、視覚的にスローシティを認識してもらうために実施するものです。チッタスローサNDERを機に、オレンジといえば「スローシティ」、カタツムリといえば「スローシティ」といったイメージが共有できればうれしいです。9月24日（日）は、前橋産の食材で料理をしたり、e.d.o.で自然の中をサイクリングしたり、スローに過ごしましょう。



スローシティについて詳しくはこちら